



令和5年11月10日
四国地方整備局

令和5年度 第1回 四国地方整備局総合評価本局小委員会の開催結果について

令和5年度第1回四国地方整備局総合評価本局小委員会を令和5年10月12日に開催し、令和4年度（R4.12月以降）から令和5年度（R5.7月末迄）の総合評価落札方式による本官契約の工事について提示し、その中から委員により抽出していただいた代表工事3件について具体的な総合評価内容の説明を行い、ご意見をお伺いしました。

また、令和4年度（R4.12月以降）から令和5年度（R5.9月末迄）の総合評価落札方式、プロポーザル方式による本官契約の建設コンサルタント業務等について提示し、ご意見をお伺いしました。

これらの意見を参考に、総合評価落札方式等の審査又は評価が、より一層中立かつ公正に行われるよう今後とも努めて参ります。

【主な意見の概要】

- ・総合評価においてICT技術等の現場実装を誘導していくことは施工の効率化・省力化を図る観点から積極的に取り組むべきであるが、過度な提案を求めていると受け取られないようテーマの設定については慎重に行う必要がある。
- ・現場の生産性向上による効果は、本来、入札価格の中に反映されるものと考えている。具体の評価は中長期的な課題と思われるが、生産性向上と入札価格、そしてダンピング調査が連携して評価される仕組みが理想であると考えている。

本局小委員会の概要

1. 日時：令和5年10月12日（木）10：00～12：00
2. 場所：高松サンポート合同庁舎北館13階災害対策室
3. 出席委員：氏家委員（Web）、奥嶋委員、松島委員、渡邊委員（Web）
4. 議事次第・・・・・・・・別紙－1
5. 開催結果の概要・・・・・・・・別紙－2

＜問い合わせ先＞	国土交通省 四国地方整備局	TEL：(087) 851-8061 (代表)
【企画部（全般）】	技術管理課長 中野 晴樹	(内線3311)
工事窓口：	技術管理課長補佐 山本 恭二	(内線3314)
業務窓口：	技術管理課長補佐 仙波 宏光	(内線3313)
【港湾空港部】	品質確保室長 富本 正	(内線6413)

日時：令和5年10月12日（木）10:00～12:00

場所：高松サンポート合同庁舎北館 13階災害対策室

令和5年度 第1回 四国地方整備局総合評価本局小委員会

議 事 次 第

1. 開 会

2. 報告事項

- 1) 令和5年度までの総合評価落札方式による契約結果等について . . . 資料－ 1

3. 審議事項

- 1) 令和4・5年度の適用工事・業務（本官契約）について . . . 資料－ 2

2) 具体事例について

- ①令和4－6年度 福井道路^{あらたの}新野トンネル工事 . . . 資料－ 3

- ②令和4－6年度 横断道^{えだ}江田高架橋上部PA27－PA32工事 . . . 資料－ 4

- ③松山港^{がいこうちく}外港地区岸壁（－13m）築造工事 . . . 資料－ 5

4. 閉 会

令和5年度第1回四国地方整備局総合評価本局小委員会

開催結果の概要

日時：令和5年10月12日（木） 10：00～12：00

場所：高松サンポート合同庁舎北館13階災害対策室

出席委員 愛媛大学大学院 教授 氏家 勲
徳島大学大学院 教授 奥嶋 政嗣
香川大学 特命教授 松島 学
Bond University 教授 渡邊 法美

I 報告事項

令和5年度までの総合評価落札方式による契約結果等について

II 意見聴取の対象

小委員会の役割が、複数の工事（総合評価落札方式）及び業務等（総合評価落札方式、プロポーザル方式）に共通する評価方法及び個別工事、業務等の評価方法や落札者の決定方法に関することに対して意見を聴取することを踏まえ、令和4年度（R4.12月以降）から令和5年度（R5.7月末迄）の総合評価落札方式による工事51件（本官契約工事）について評価項目の内容等を提示。

また、令和4年度（R4.12月以降）から令和5年度（R5.9月末迄）の総合評価落札方式、プロポーザル方式による建設コンサルタント業務等50件（本官契約業務）について提示。

【工事関係】 令和4・5年度対象工事

本官（本局）契約工事（R5.7.31基準日）

	開札済み	手続き中	準備中	合計
技術提案評価型（S型）2テーマ	9件	2件	9件	20件
技術提案評価型（S型）1テーマ	5件	2件	7件	14件
施工能力評価型（Ⅰ型）	8件	0件	0件	8件
施工能力評価型（Ⅱ型）	3件	2件	2件	7件
技術提案・交渉方式（ECI）	2件	0件	0件	2件
合 計	27件	6件	18件	51件

【業務関係】 平成4・5年度対象業務等

本官（本局）契約業務（R5.9.29基準日）

		特定・開札済	手続き中	準備中	合計
業務	プロポーザル方式	22	1	0	23
	総合評価落札方式	25	0	0	25
役務	企画競争方式	1	0	0	1
	総合評価落札方式	0	1	0	1
合計		48	2	0	50

III 主な意見の概要

- ・総合評価においてICT技術等の現場実装を誘導していくことは施工の効率化・省力化を図る観点から積極的に取り組むべきであるが、過度な提案を求めていると受け取られないようテーマの設定については慎重に行う必要がある。
- ・現場の生産性向上による効果は、本来、入札価格の中に反映されるものと考えている。具体的評価は中長期的な課題と思われるが、生産性向上と入札価格、そしてダンピング調査が連携して評価される仕組みが理想であると考えている。